

日本海洋学会評議員会 2018年5月20日

2018年度日本海洋学会春季評議員会議事録

日時：2018年5月20日（日）18:30～20:30

場所：幕張メッセ国際会議場（103）

出席者：日比谷会長、神田副会長、須賀監査、青木、秋友、安藤、石井、石坂、市川（香）、市川（洋）、伊藤、植原、大島、岡、小埜、郭、河野、河宮、川合（美）、響田、根田、齊藤（誠）、齊藤（宏）、杉崎、鈴木、東塚、中野、中村、西岡、花輪、広瀬、古谷、本多、升本、松野、道田、三寺、見延、森本、安田、山中、吉川、吉田各評議員（43名）

宗林三賞選考委員長（前）、一見環境科学賞選考委員長（前）、梅沢海洋環境問題研究会会長、田村ブレークスルー研究会会長、川合（義）幹事、北出幹事、安田幹事、山田幹事、安中幹事、毎日学術フォーラム（平坂）

委任状：磯辺、岩坂、上、植松、江渕、小川、久保川、久保田、武岡、武田、津田、原田、万田、小畑各評議員（14名）

開会に先立ち、北出集会担当幹事より、出席者53名、委任状14通で評議員会細則第3条の規定による評議員会の成立要件を満たしている旨報告があった。

1. 会長挨拶（日比谷会長）

評議員会開催に先立ち、光易恒会員がJpGUのフェローに選出された件が報告された。任期期間中の学会改革として実施した春季大会のJpGUとの合流に関し、2年目の今年は海洋学会共催セッションが22件あった件が報告された。また、日本海洋学会からJpGUに10名以上の代議員および3名の理事候補者（河宮会員、市川会員、日比谷会長）が選出された件について報告された。3月24～25日に海洋生物学研究会のシンポジウムが開催され、若手中心に活発な議論が行われた件、秋季大会に各賞授賞式を移行することを検討している件、研究発表大会におけるセッション提案制が若手を中心に根付いてきた件についても報告された。また財政改革として、2019年1月からのSpringerと新規契約に関して調整し、会計の黒字転換が見込まれることについても報告があった。3月28日に、日本学術会議の地球惑星科学委員会主催で、大型研究計画のヒアリングがあり、マスタープラン2017に提出した課題（深海アルゴフロートの全球展開による気候生態系変動予測の高精度化）を用いて発表し、好評であった件について報告された。若手海外渡航支援の応募者が最近激減しており、若手研究者との懇談会を通じて生の声を聞き、支援方法について検討していきたい件について報告があった。

2. 報告事項

1) 会務報告

庶務（東塚幹事）

会員異動状況について報告があった。

編集

① JO（石坂編集委員長）

発行状況、投稿・受理状況、特別セクション号の論文編集作業、高頻度論文、2017年のインパクトファクター決定時期について報告があった。

② 海の研究（市川編集委員長）

活動方針、2017年度出版実績、2018年度出版計画、投稿論文状況、委員（継続・交代）、J-STAGEでの公開の再開、ASFAへの英文要旨の転載、掲載論文等のオンライン公開について報告があった。

③ JOS ニュースレター（安藤編集委員長）

2017年度の発行状況（Vol. 7(1)～(4)）、vol. 7(1)の石黒博士の記事についてノーベル文学賞受賞関係で転載許諾申請があったことを受け、著作権を明確化するために投稿規定を作成したこと、vol. 8(1)が準備中であること、委員について報告があった。

研究発表（山田幹事）

2017年度に開催した大会ならびに2018～2019年度の大会の予定について報告があった。

賞選考

① 学会賞・岡田賞・宇田賞（宗林前委員長）

選考過程および選考結果について報告があった。

② 日高論文賞、奨励論文賞（羽角前委員長代理 岡幹事）

選考過程および選考結果について報告があった。

③ 環境科学賞（一見前委員長）

選考過程および選考結果について報告があった。

選挙管理（安田幹事）

日本海洋学会評議員会 2018年5月20日

各賞可否投票および各種選考委員選挙の結果について報告があった。

広報委員会（小笠委員長）

「海の出前授業」の活動状況、JpGU ブースでの各種広報活動、2017年度秋季大会での広報活動報告、学会パンフレットの更新予定、ウェブページの更新予定について報告があった。

海洋環境委員会（小笠委員長）

2018年度青い海助成事業の応募状況、緊急対応型について募集中であること、応募数激減に関する状況把握に関するアンケートを計画していることについて報告があった。

青い海助成事業は、宇野木基金に基づくものなので、性急な使用を検討するのではなく、他の事業も含めたアウトリーチについて整理してから実施してほしい旨の意見があった。

海洋観測ガイドライン編集委員会（小笠委員長）

2018年5月末に第4版を出し、和文のガイドラインは完成したこと、英文については今年度末に完成を目指し準備しているとの報告があった。

西南支部（松野支部長）

ニュースレター47号を発行したこと、12月7日に福岡管区気象台で大学関係の船舶利用について報告したこと、12月8日に水産海洋学会と共催でシンポジウム「乱流混合と海洋環境」を開催したこと、今年度もシンポジウム開催を予定していることについて報告があった。

海洋環境問題研究会（梅澤研究会会長）

2017年度秋季大会会期中にシンポジウムを開催したこと、会員異動状況、2018年度秋季大会会期中にシンポジウムを予定していること、沿岸環境調査マニュアル改訂版出版に関する検討について報告された。

沿岸海洋研究会（松野研究会会長）

4/20に委員会を開催した

4月1日付で研究会総務部が東海大から愛媛大に移行した件、3月の生物系シンポジウムの開催時期に併せてシンポジウムを開催した件、秋季大会会期中にシンポジウム開催を計画している件、「沿岸海洋」の発行形態を変更することを検討している件について報告があった。

海洋生物学研究会（杉崎研究会会長）

日本海洋学会評議員会 2018年5月20日

活動概要、会員動向、会員動向、海洋生物シンポジウム 2018 の開催報告について報告があった。

教育問題研究会（轡田研究会会長）

2017 年度活動報告および 2018 年度活動計画について報告があった。

ブレイクスルー研究会（田村研究会会長）

2017 年度活動報告、2018 年度活動計画について報告があった。

クラウドファンディングで得られた資金の取り扱いおよび目標額に達しなかった場合の事業実施に関して質疑があった。

2) 学界関連報告

学界動向（神田副会長）

20 件の学界関連情報について報告があった。

日本地球惑星科学連合（川合幹事）

2018 年度 JpGU 大会、2019 年度以降の大会、「理学・工学分野における科学・夢ロードマップ」の改訂、その他（科学研究費研究成果公開促進費の不採択、地球観測グランドデザイン）について報告があった。

水産・海洋科学研究連絡協議会（伊藤幹事）

平成 30 年度第一回水産・海洋科学研究連絡協議会が 2018 年 5 月 28 日開催予定であること、協議会委員の任期について検討中であることが報告された。

3. 審議事項

1) 賞選考委員委嘱について（日比谷会長）

三賞、論文賞および環境科学賞の選考委員について、半数改選の結果をへて三賞選考委員 4 名、論文賞選考委員 4 名、環境科学賞選考委員 2 名への委嘱が承認された。委員の各専門分野を検討のうえ選考委員の追加委嘱についてメール審議にて諮ることが了承された。

2) 2017 年度事業報告並びに決算報告について（東塚幹事・齊藤幹事）

2017 年度事業報告並びに決算報告について説明された。

3) 2017 年度監査報告について（須賀監査）

監査報告を踏まえ、2017 年度事業報告、決算報告、監査報告が承認された。

4) 2018 年度事業計画並びに予算案について (東塚幹事・齊藤幹事)

2018 年度の事業計画ならびに予算案が承認された。

5) 受賞記念講演座長について (東塚幹事)

受賞記念講演座長について提案され、承認された。

6) 名誉会員の推薦について (岡幹事)

名誉会員に関し、山形俊男会員への推薦理由書について提案され、承認された。

7) 2018 年度事通常総会議事次第案について (東塚幹事)

通常総会議事次第案を確認し、承認された。

8) 日本海洋学会細則の変更について (東塚幹事)

各賞授賞式の時期に関する日本海洋学会細則の変更について提案され、承認された。

9) 2020 年度秋季大会の担当地区について (山田幹事)

2020 年度秋季大会の担当地区について提案され、承認された。

10) JOS ニュースレターの投稿規定について (安藤編集委員長)

JOS ニュースレターの投稿規定について提案され、承認された。

3. その他

2018 年度秋季大会の大会実行委員長である吉田次郎会員より、準備状況の紹介と併せて挨拶があった。

以上